# 奥秩父　東のナメ沢

日程：2009 年 6 月 28 日(日)

メンバー：L 平本、白土(記録)

西沢渓谷駐車場 5:45～8:00 東のナメ沢出合～11:00 東のナメ滝終了点～13:30 鶏冠尾根稜線～16:50 西沢渓谷駐車場

1/25000 地形図：金峰山、雁坂峠

東のナメ沢は過去に何度も計画を立ててはいたが、なかなか天候に恵まれずその度に遡行を断念してきた。今回は梅雨の合間でコンディションがよく、やっと遡行できた。

例によって道の駅みとみで前泊する。西沢渓谷駐車場へ移動し、身支度を調えて入山する。吊り橋を渡って東沢に入り、渓流シューズに履き替える。山の神まで登山道を行く。東のナメ沢出合付近は渓相が大きく変わっていた。何年か前に東のナメ滝上部の一ノ沢から本流まで大規模な土砂崩れがあり、土砂は本流まで達してとても広い範囲が埋まってしまった。本流両岸も崩れていて、まるで広い河原だ。本流から東のナメ滝の全貌が見渡せる。

東のナメ滝下部の 2 段ほどをノーザイルで渓流シューズで登る。右岸のテラスでクライミングシューズに履き替えザイルを結ぶ。奇数ピッチは平本さん、偶数ピッチは私がリードしてツルベで登る。平本さんは今回のために電動ドリルを持参し、リードしながらリングボルトを何カ所か設置した。本番でのボルト設置は初めて見たが両手を使うため、当然安定した場所でしか設置はできない。ハーケンが打てないスラブの一枚岩でも当然ボルトは打てるので心強い装備だ。水流の左側を登り、上部は岩壁伝いに水流へ向かってへ右へトラバースし、最後の 5 ピッチ目は水流左のクラック沿いに登った。その間、本流を下降してきたパーティーが見物しているのが見えた。東のナメ滝のすぐ上にも 15m､20m の滝があり左岸を巻く。その上の左岸から一ノ沢が合流しているが、全面崩壊していた。そこからの本流は木が生い茂り､沢らしいままである。二ノ沢が左岸より合流しているが枯れていた。徐々に水流も細くなり、歩きやすいところを詰めていく。最後はシャクナゲエリアだったが、踏み後もあるので藪こぎもたいしたことなく鶏冠尾根の稜線に出た。実は私は鶏冠尾根を歩くのも初めてで、思っていた以上に険しくルートファインディングが試されているような気がした。鶏冠尾根からも一ノ沢の崩壊がよく見えた。鶏冠谷出合に着いたくらいから雨が降り始め、とてもラッキーであった。下山後は塩山の恵林寺近くにある、鯉の口から惜しみなく湯がかけ流されているはやぶさの湯 500 円でさっぱりした。

東のナメ沢を本流から見学することは何度もあったがなかなか登れずにいた。東のナメ沢熟達者の平本さんをメンバーに得て、暑くもなく寒くもなく、乾いた東のナメ滝をとてもいいコンディションで登ることができてやっとすっきりできた。

崩壊後の東のナメ滝